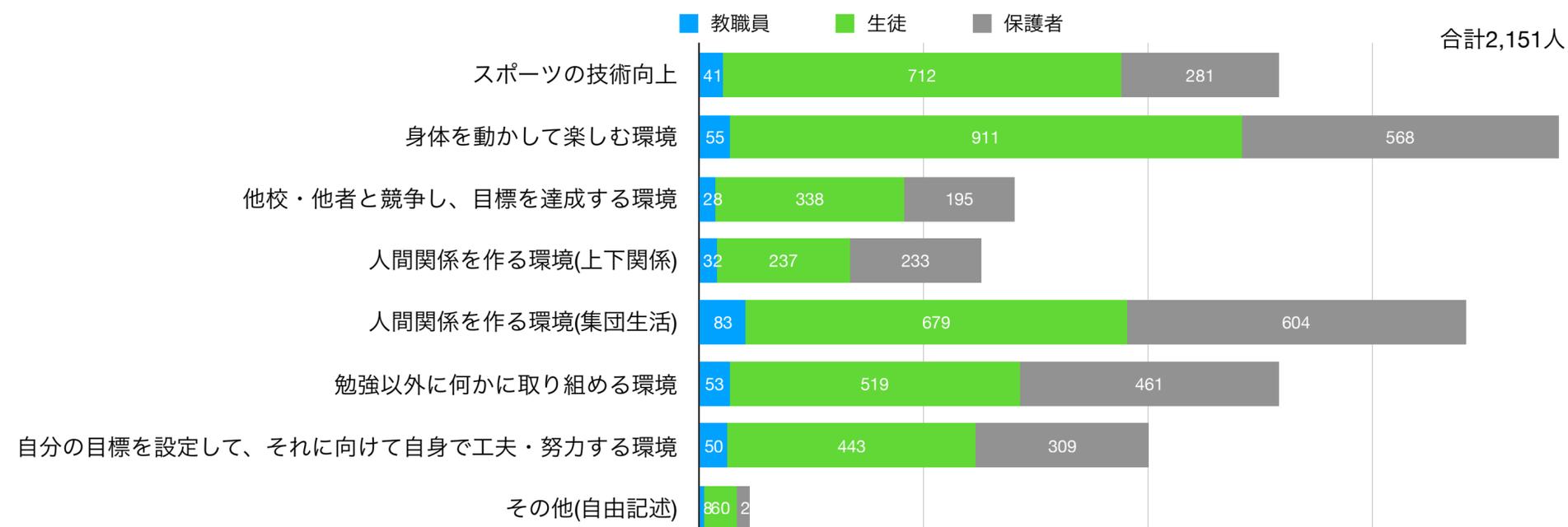


運動部活動に関するアンケートまとめ

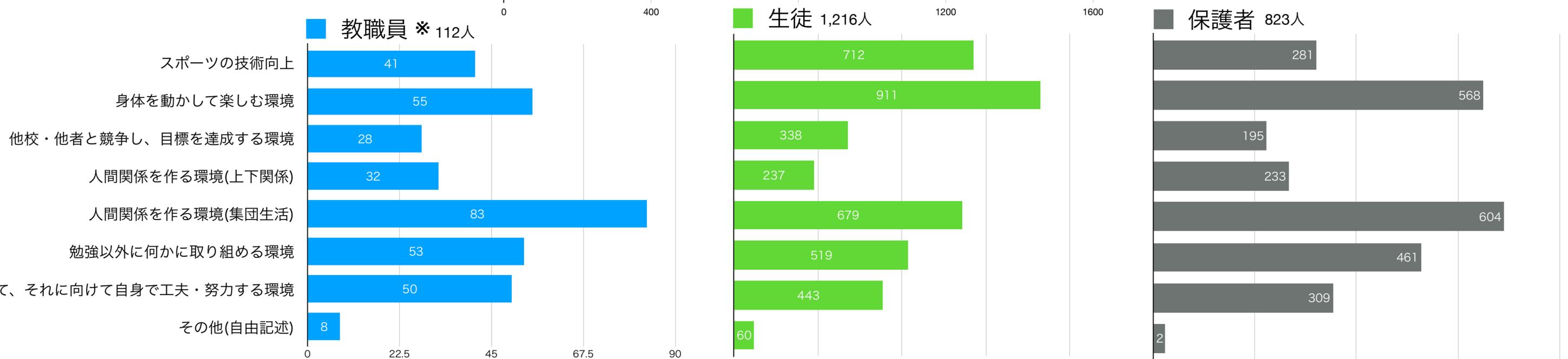
1. 中学校の運動部活動に求めていること
2. 環境として重要視していること
3. 中学校の運動部活動に求めていることはどういう形で実現するのが望ましいか
4. 運動部活動に取り組む教職員自身が求めていること
5. 自由記述
 - 5-1. 中学校の運動部活動に求めていること
 - 5-2. 環境として重要視していること
 - 5-3. 中学校の運動部活動に求めていることはどういう形で実現するのが望ましいか
 - 5-4. 運動部活動に取り組む教職員自身が求めていること

1. 中学校の運動部活動に求めていること

- ・教職員・生徒・保護者毎の上位3項目を比較してみると、3者共通で「体を動かして楽しむ環境」「人間関係を作る環境(集団生活)」を求めていること、教職員・保護者は「勉強以外に何かに取り組める環境」、生徒は「スポーツの技術向上」を求めていることが分かる。
- ・一方、教職員・生徒・保護者毎の下位3項目を比較してみると、3者共通で「人間関係を作る環境(上下関係)」「他校・他者と競争し、目標を達成する環境」は低くなっており、教職員・保護者は「スポーツの技術向上」、生徒は「自分の目標を設定して、それに向けて自身で工夫・努力する環境」が低いことが分かる。



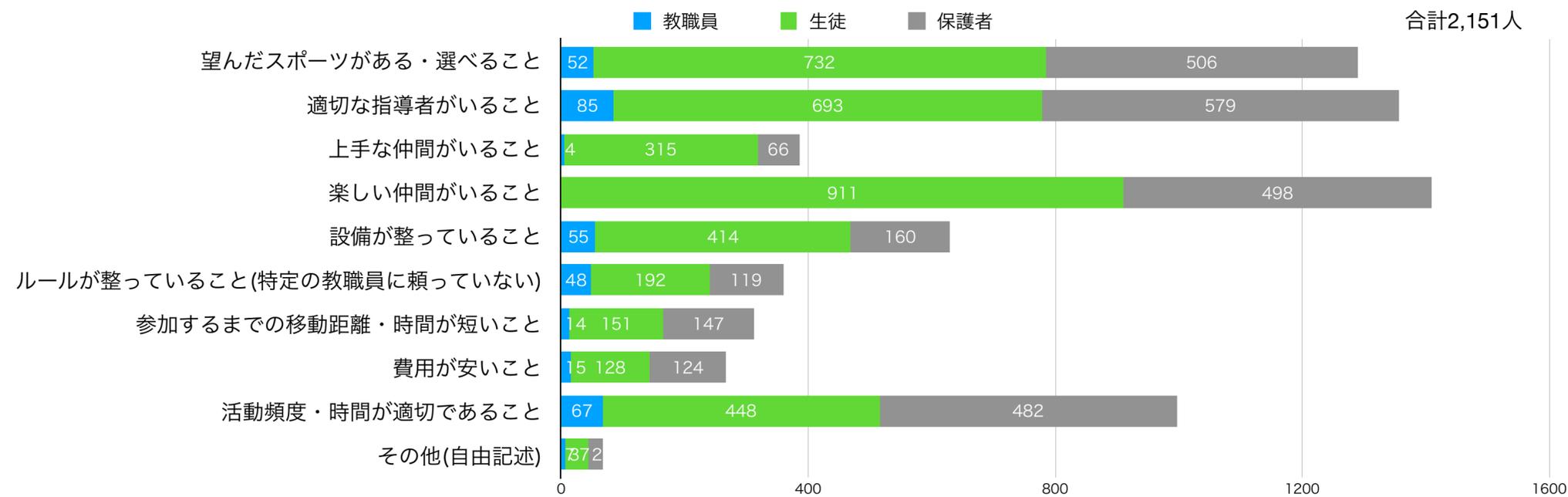
中学校の運動部活動に求めていることを3つ教えてください



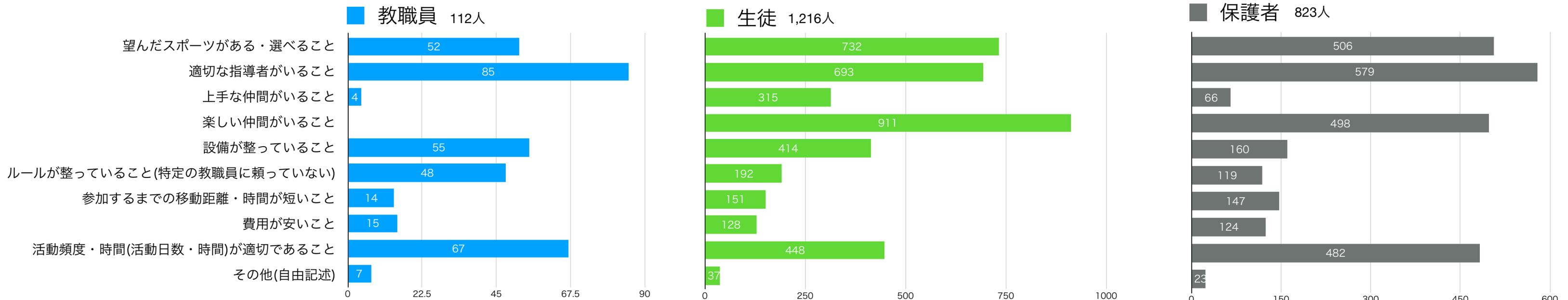
※. 質問は生徒に対して運動部活動への参加で提供したいこと

2. 環境として重要視していること

- ・教職員・生徒・保護者毎の上位3項目を比較してみると、3者共通で「適切な指導者がいること」を求めており、教職員は「活動頻度・時間が適切であること」「設備が整っていること」、生徒・保護者は「望んだスポーツがある・選べること」「楽しい仲間がいること」を求めていることが分かる。
- ・一方、教職員・生徒・保護者毎の下位3項目を比較してみると、3者共通で「費用が安いこと」は低くなっており、教職員・保護者は「上手な仲間がいること」、教職員・生徒は「参加するまでの移動距離・時間が短いこと」、生徒・保護者は「ルールが整っていること」が低いことが分かる。



環境として重要視していることを3つ教えてください



3. 中学校の運動部活動に求めていることはどういう形で実現するのが望ましいか

- ・回答理由から教職員・生徒・保護者の多くの方がやむを得ず選択している状況になっていることが分かるため、現時点の集計結果が有効な情報だとは考えにくい。(回答例を以下に示す)
- ・今後は『1. 運動部活動に求めていること』及び『2. 環境として重要視していること』の回答及び自由記述の問題提起を踏まえ、実現方法の議論を教職員・生徒・保護者の複数の視点で行うことが重要だと考える。



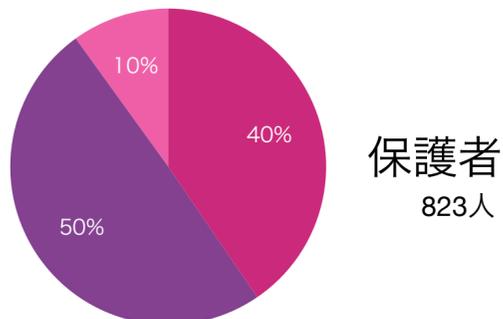
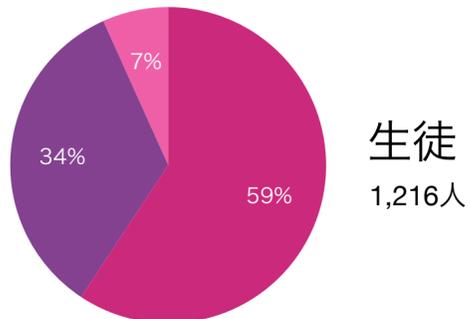
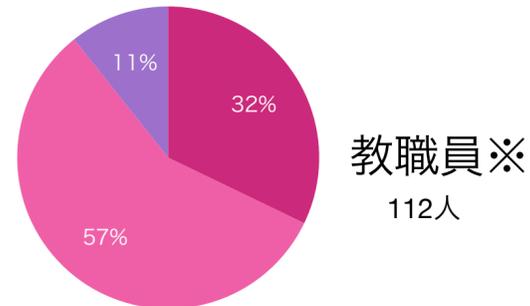
中学校の運動部活動に求めていることは、どのような形が望ましいかを教えてください

なぜそう思うのか教えてください

・地域に新規で委託できる資金があるとは思えないから。教員の勤務状況を改善するならば、職員人数の見直しなど、検討すべき。
 ・現状では地域クラブに移行するといっても実現可能と思われる形が出てきていない

・成り立つのであれば、学校内で成り立ってほしい
 ・先生の負担が大きい、先生の都合がつかないのであれば、地域クラブに移行したほうがいい。部員がどちらにしたいか投票できるようにしてもらえるとありがたい
 ・様々なスポーツをやるのもいいが、クラブを作るより、兼部のシステムを整えて欲しい。
 ・地域クラブだと金がかかるから
 ・今の時点で地域クラブの全容が見えないため。
 ・なぜいきなり大人の都合でこんな話が出てくるのかわからない。
 ・中途半端に移行したら中途半端な部活動になってしまうという不安がある。ずっと寄り添ってほしい。

・部活の繋がりがなくなって、先生たちと生徒たちの人間関係はしっかり育まれるのか心配です。外部に全面委託することで学校が荒れてしまうのではないかと心配です。
 ・部活動にも学校生活の延長としての活動の場だからこそ意味がある部分もあるかと思う。ただ、先生方の負担を考えると何とも言いえない。
 ・地域クラブは現実的ではない
 ・学校の部活動では部員数確保が難しく他校と合同になる部活動もあるのが現状となっている。それであれば地域クラブとして学校を超えて活動したほうがよいと考えました。ただ地域クラブに丸投げするのではなく、指導者と活動場所の確保をどうしていくのかも検討した上で、移行していくことが必要と考えます。
 ・学校毎に活動することが、むずかしいならば、いくつかの学校をまとめて活動することがあっても良いと思います。クラブチームに入り、毎週遠くまで通うのは難しいけれど、地域の中学校で活動できるならばありがたいです。
 ・【地域クラブ】の具体的な内容がまだ分からず、中学生の子どもたちが通える環境や物理的な条件（距離など）を満たすにはどのような形態がよりよいのか考える余地があると思い、1つだけの選択はしませんでした。
 ・部活動の顧問を引き受けることが精神的にも肉体的にも負担になる先生がいらっしゃるなら、その部分は地域クラブや外部指導という形で補っていくべき。ただ、完全に外部に依存するのではなく、どの先生も授業以外で生徒と触れ合う環境を作ることは大切だと思う
 ・コーチから専門的な指導を受けられることは嬉しいですが、先生との繋がりが薄れたりしないかという懸念があるため、両方という回答を致しました。



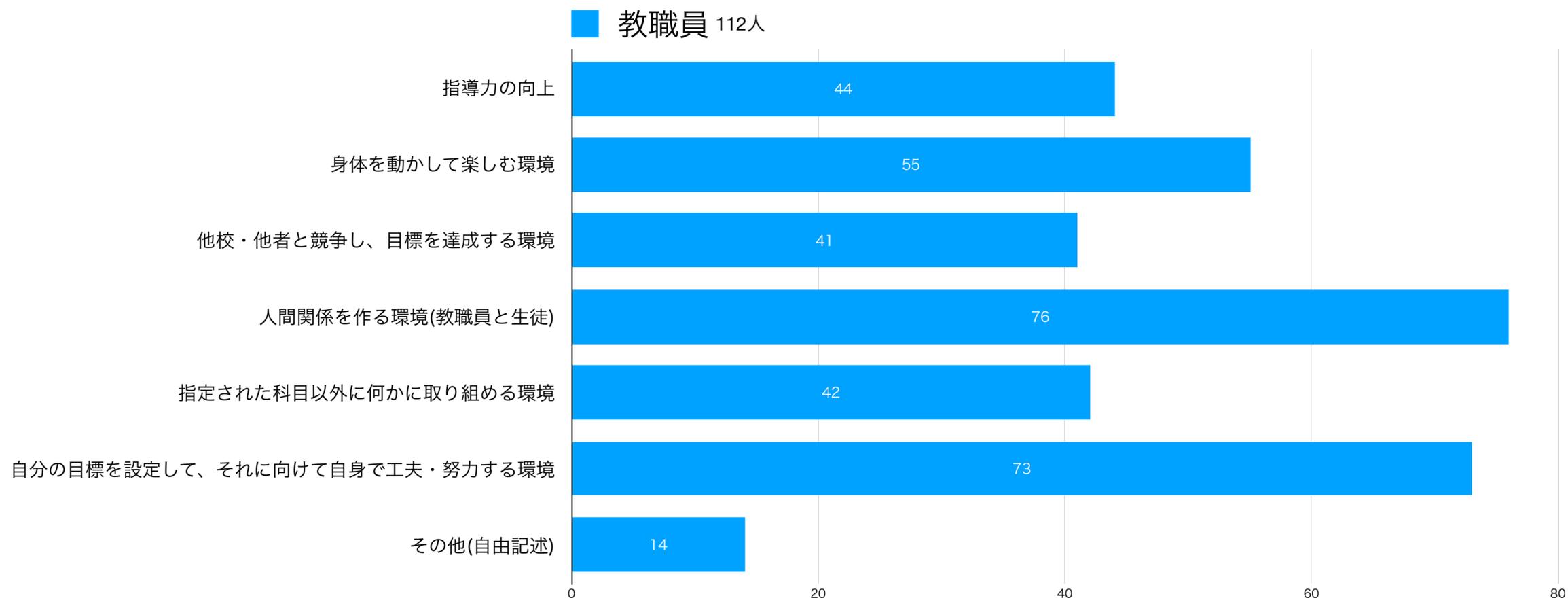
- 部活動として実施した方がよい
- 部活動と地域クラブの両方で実施した方がよい
- 地域クラブで実施した方がよい
- 部活動以外の学校教育で実施した方がよい

※. 質問は生徒に対して運動部活動への参加で提供したいことに対して望ましい形を回答するもの
 回答選択肢は「部活動と地域クラブの両方で実施した方がよい」の代わりに「部活動以外の学校教育で実施した方がよい」を用意

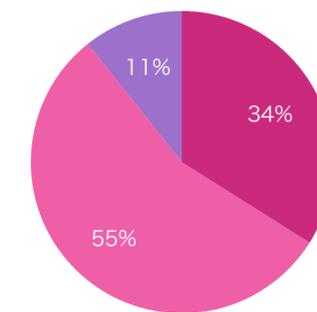
4. 運動部活動に取り組む教職員自身が求めていること

- ・部活動改革のきっかけの一つになった「働き方改革」の当事者の教職員の声に焦点を当てた本質問に対して、教職員の約半数以上が「人間関係を作る環境(教職員と生徒)」「自分の目標を設定して、それに向けて自身で工夫・努力する環境」を求めている結果となった。
- ・運動部活動の地域移行の有無に関わらず、教職員の働く環境をより良くするために継続して議論をするための参考材料になると考える。

ご自身が運動部活動に求めていることを3つ教えてください



運動部活動に求めていることはどのような形が望ましいかを教えてください*



- 部活動として実施した方がよい
- 部活動と地域クラブの両方で実施した方がよい(選択肢無し)
- 地域クラブで実施した方がよい
- 部活動以外の学校教育で実施した方がよい

※. 質問は教職員自身が求めていることに対して望ましい形を回答するもの
 回答選択肢は「部活動と地域クラブの両方で実施した方がよい」の代わりに「部活動以外の学校教育で実施した方がよい」を用意

5-1. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていること

- ・体力向上、生涯における余暇活動への興味関心の寄与
- ・好きなことで努力することを経験させるで、多少嫌な事でも努力する力を身につけさせたい。

- ・自分の将来につなげたいから
- ・友達との交流の場
- ・一致団結し素晴らしい組織に作り上げることでできる部であること
- ・運動能力の低下を防ぐ
- ・何かに熱中することができるようにすること
- ・自分の好きなこと（趣味）を友達と楽しくやりたい
- ・目標を達成する喜びを味わうこと
- ・集団の中、上下関係の中で自分の役割や責任について感じ、考えること
- ・クラス担任以外との交流
- ・学年、国籍、性別に関係なく楽しめる環境
- ・時には苦しく、時には楽しく、雰囲気がいっきりしているいろいろなことに忘れられ没頭できる所
- ・礼儀や人間性を育てる
- ・自校の校庭、体育館等施設を(無料)利用できること
- ・部員全員が自分の意見を言える環境

- ・仲間と1つの目標に向かって努力し、成し遂げること
- ・基礎体力の向上
- ・競技について、より専門的な知識を身につけ、体現できるようになること
- ・学校の先生が顧問をして負担になるよりは、外部から専門の方を部費で少しお金を払ってでも、顧問として迎えてもらった方が、部活動の技術向上や、大会への目標なども変わってくると思います
- ・自分の居場所
- ・保護者の負担が少ないこと
- ・勉強はどちらかと言うと受動的ですが、部活は能動的であり、思春期の難しい時期は何か打ち込める環境を作るのが心身ともに健康に育つ助けになると思います
- ・やってみたい事(実験)ができるから。理科部
- ・勝敗も時として大切だが、すべてではない。活動にたいするモチベーションの方が大切
- ・先生だから解る学校生活の顔とは異なる生徒達の一面を見てもらうことで、より効果的に成長を促す教育や指導を与えてもらいたい
- ・つらいこと、しんどいことを仲間と共に乗り越え、その先にある達成感や充実感を味わって欲しい
- ・大会に出場して好成績を残し、推薦入試の要件を満たすこと
- ・楽しいこと、辛いこと、困難を乗り越えたり、喜びを共有できる同志がいる心強さを身をもって体験していくこと

5-2. 自由記述 環境として重要視していること

- ・生徒指導が適切に行われていること
- ・部活動の時間を授業時間に組み入れる
- ・志を共有できる仲間(生徒、教員を含め)がいることが一番だと思います

- ・チームとして仲間はずれがなく、oneチームになれること
- ・練習の内容が濃いこと
- ・部活内で陰湿ないじめ等があった際の適切な対応
- ・お金は多少払ってもいいから得るものが多い方がいい。例えば希望制にして払ってやりたい人はこの日に来る等してほしかった
- ・自分がこの部活で三年間一生懸命取り組めるかどうかということ
- ・綺麗で自分の実力をあげられるような環境、ブルーロックのような感じ、そのスポーツの専門的な場所、それを極めたものがない
- ・学校の管理下で出来ること
- ・上下関係はあるけど、仲がいいこと（先輩後輩関係なく）
- ・指導者、顧問が前向きであること!!
- ・学校で行う意義が明確であること(習い事との違い、部活の良さがあると思います)

- ・本当は一つだけのスポーツに限定するのは、疑問が多い。アメリカのように複数の競技ができる環境が整備されることが理想
- ・指導者、指導方法を第三者がチェック
- ・目標をステップアップしたくなる環境
- ・子ども達が自ら考える改善していけるように導いてくださるような指導ができる指導者がいることが大切だと考える
- ・学習との両立ができる環境にあること
- ・指導者の心の余裕があり、過度な疲労がないこと。
- ・スポーツを余暇として気楽に楽しめる環境であることが一番
- ・活動を見守ってくれて何かあった時に対処してくれる大人がいること
- ・保護者の負担が少ない環境。勉強と両立できる環境。(試験前、試験中は活動原則無し等)
- ・本人が楽しんで活動出来ること
- ・地域移行によって教員の負担を減少させる、地域で指導者を募り活性させるのは良いこと
- ・自己を追求し、発達していける環境として部活動を設定していただきたい
- ・家庭の用事や様々な校外活動も並行して行う中で、部活動は絶対に休めない、部活動優先という意識を子供に植え付けるような状況は、義務教育課程での部活としていかなものかと思う
- ・誰に対しても平等で丁寧、真摯に向き合える指導者が身近にいること(好き嫌いで言動を変えたり気分屋だと子供たちは感じ取ります)
- ・サッカー部ですが、クラブチームに行く程ではないがサッカーを続けたいので部活に入りました

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



①部活動として実施した方が良い

- ・日頃の学校活動と切り離さずに指導していく方が生徒理解に基づいた効果的な指導になると考えるため
- ・地域クラブでの実施でも構わないが、学級活動だけでは身につけることのできない力や経験をさせて生徒の心身を育てていく活動はこの仕事を選んだ者としてその責務を果たしたい。
- ・子どもたちにとって、部活動は学校の中で1,2を争う順位で生活しているので、学校生活と連携して行くことが大切である。
- ・集団行動や課題解決能力の向上、遠征の際には公共の場や会場校でのマナーを学ぶ等、教育活動の一環として適していると考えます。
- ・安価で慣れた先生や生徒同士でできるから。
- ・集団生活の場である学校で行うことが大切である。
- ・クラブチームでは参加できない生徒がいたりあきらめる生徒がでてくると思う
- ・教育活動の延長線上でやる方が信頼関係などもあるためより良いと思う
- ・生徒の様子(個人個人の特性、家庭環境、人間関係など)を比較的理解できているのは、教員。クラブチームのように『教育』ではなく『競技力の向上』を第1の目標にしているのなら、生徒の様子は関係ないが、そこまでではなく、やりたいことを通して『教育』をしていくのなら教育のプロである教員が指導をしたほうが良いと思う。
- ・学校部活動は、学校生活と密接に関係していて、教育活動に役立っているからです。運動部活動や教員は、ブラックな職場というイメージがあるが、見合うだけの報酬が支払われていないから、苦情が出るのです。見合う報酬が支払われれば、良いと思う。

- ・同じ中学校じゃない生徒と行うと思うと人間関係がうまくいかなくなると思う。また仲の良いライバルとともに戦うことで伸びやすくなると思うから。
- ・知っている人が多いほうが気が楽
- ・部活動をしている人の中には、この部活が自分の好きな先生だから選んでいる人もいるからそういう人たちにとっては、学校の部活動に意味があると思う。
- ・勉強だけ、委員会とかの学校行事だけでなく、部活動も含め、総合的に成長を見て行ける場であり、よりよく成長させるためにアプローチできるのが、学校だと考えているから。
- ・地域活動だと、私的活動になり親がか関わらなくてはならないため、土日に仕事がある家庭は入れない。部活として学校に関わらないと無理。
- ・地域のクラブだと学校でサッカーの話をする仲間がいなくなるから
- ・上下関係を築く手段として、委員会と部活動でしかないため

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



①部活動として実施した方が良い

- ・地域クラブでは、別の中学との出会い関わりもできるが、大会などは中学別となるため、同じ中学の部活動の方がよい。
- ・学校の仲間みの環境でスポーツを通じた経験を共有することが、普段の学校の生活にも良い影響を与えると思うため
- ・所属する団体が部活だと、自分の学校であるため、学校の代表である意識も高まると思う。先生方の負担が大きいのは重々承知ですが、専門の指導者がいてくれる環境で、なおかつ学校内で、自分のため、チームのため、学園のために活動できたら、それが1番の理想です。
- ・現在クラブチームと部活と両方に参加しているが、クラブチームの活動は勉強との両立が頻度、レベルが合わない、時間、移動などの理由で難しいと感じる事が多い為。
- ・部活動で実施した場合、高校進学時の内申にも加味されますが、地域クラブとなった場合、学校の関与が不明瞭で、内申への影響がどのようになるのかもよくわからないので。
- ・現状部活動に活発な活動がなく、外部に流れてしまうので、部活が充実すれば、外部に行く必要がないから
- ・授業以外で仲間とスポーツが楽しめて生き生きできる環境ならいいと思う
- ・部活動の方が学内の友人とより深い関係を作れるから。毎年クラス替えがあり、クラスでの友人は変化していきますが、部活動では3年間通しての関係が出来やすいと考えています。
- ・地域クラブをやるかどうかは自由ですが、毎日通う中学校での部活動は、子どもの学校での楽しみでもあり、さらに活力ともなっていますので、生徒の加入率の高い部活動に焦点を当てて回答しました。
- ・教職員からの指導により、信頼関係が深まる。また、上級、下級生との関わりから、他者との協力関係を築く能力が身につく。
- ・現状のままが望ましい。外部委託はすべきでない。教育的効果、安全性、費用の問題から。
- ・駅伝部などは、杉並区の駅伝大会もあるので、先生直轄にしたほうがいいと思う
- ・年に一度でも子供がどんな部活かあったら入りたいと思っているか、などのアンケート等を取り、先生方に子供の心を知る機会を設けるのも一つかと思いました。自分のやりたり部活があればやる気に繋がると思いました。
- ・部活が学校活動の一つとして存在して欲しいです。指導者については外部講師などの活用で教員の負担軽減を図るなど改革が必要と考えています。部活だけでなく1学級の生徒数を減らすとか、教員数を増やすなど、学校環境全体の改善が同時に必要だと思います。
- ・転居に伴い入学した為知り合いもない そのため部活動で学校の友人関係を広げて欲しい
- ・学校が状況を管理しやすいと思うので
- ・親の負担が1番軽いと思われるので
- ・学校対抗がある方が目標なりモチベーションを上げれたりするのではないのでしょうか。
- ・地域クラブの場合は、始めからやる気のある子供しか入らなくなると思うので、学校の活動としての部活動の方が生徒が参加しやすいと思います。
- ・現状はこういう風に関われるような雰囲気ではなく、本気で取り組みたい〜別に部活動やらなくていい、という間の中間層が気軽に参加できるようなものではないような気がします。本気で取り組みたいことは校外活動でしているが、部活にもできる範囲でみんなと一緒に参加したい、など色々な事情の生徒の受け皿であってほしいです。
- ・放課後の活動ではなく、授業時間内で完結する形が理想で、そうして全員がなにかしらの運動・文化活動に携わるのが望ましいとおもいます。
- ・中学＝部活みたいな印象があります。部活がないと塾と変わらない気がします。気を抜く場面があった方がいいです。
- ・部活動があることにより、学校が楽しく、また行きたいとおもえることもあるから。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



①部活動として実施した方が良い

- ・学校内での交流の場が必要だと思うからです。
- ・現在それぞれの部活でコーチを呼ぶだけでも資金面で問題があり公平にできないのに、限られた予算、時間、場所で多くの人が満足できる運営を地域クラブができると思えない。お金を徴収するのであれば財政的に厳しい家庭のお子さんにしわ寄せが行くだろうし、部活だからと参加するようなお子は部活がなくなれば今以上にスマホやゲームをする時間が増えると思う。地域感の格差も益々増えるように感じる。先生の負担を減らすというのであれば技術面で外部コーチをもっと増やしたり、地域の人に呼びかけて助けを求めたり、できることはあるのではないかなと思う。
- ・学校を跨いでしまうと、試合などで戦う相手がいなく（少なく）なってしまうから。（反面サッカーや野球など人数の必要な競技は近隣校と合同チームを作る他ないとは思っています。）地域クラブの形になると、親の経済的、人的負担が増えるから。こういう負担は主に母にのみかかりがちで、働く母にとってこれ以上重荷になることが増えるのは正直厳しいです。
- ・学校の仲間と先生と共に、授業以外で関われる場があることが、望ましいです。ですが、先生がルールがわからない、指導できないという状況であれば、適切に指導できる外部の方に来ていただきたいのはわかるので...場合により外部の人が来てくれることが望ましいです。
- ・学校内でのつながりを深めて欲しいから。
- ・学校ごとの団結を深めるべき。
- ・現在学校の先生との交流を楽しんでいるため。
- ・学校の中で完結できるのがありがたいからです。移動せず子供が学校にいる、という安心感が親にはありがたいので。でも顧問の先生の負担が大きくなるのは理解しています。技術の向上はイマイチでいいです。週4だったのを3にしてもよいので校内で活動してほしいです。
- ・学校対抗の大会や、トーナメントは実施して欲しい
- ・範囲が広がると人間関係が煩わしくなるのではという気がするので
- ・学校が、人間関係や興味を持った事柄について、より深く学べる場所であってほしい。
- ・活動範囲の権限や事故などが起きた時の責任の所在が曖昧になりにくいと思われるから。
- ・現状で考えた場合に、部活動という枠でなくなってしまうと、子供達の意識が下がり、一生懸命やりたい子とそこまでではないのの気持ち的格差が更に開いてしまうように思います。ある程度の強制力が必要で、地域クラブとなった場合にそのあたりがどうなるのかが心配です。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方が良い

- ・多くの人が平等にスポーツが行えるべきであるから。
- ・全員が満足できるようにするため
- ・運動を通して地域の人と交流できると人間関係が広がったり、地域の方の顔を覚えていたほうが犯罪などがしにくい地域になると思うから
- ・双方のメリットがあるため。地域クラブのメリットは、学校の先生方の負担は減らした方が良く、専門のコーチから技術的な指導をしていただける。一方、部活のメリットは、授業以外の頑張りを先生方に見ていただける。
- ・学校の先生方は多忙を極めていますし、1人の指導者のもと活動するだけでなく、他の指導者とも知り合えることで、指導内容の幅が広がることを期待したいから。
- ・他のところと交流することでもっと良くなると思う。それぞれどんな練習方法か、それぞれ部活の状況はどのような感じかを確認することができるから。
- ・学校に通てないひともいるからクラブでもできるようにしたほうがいいと思う。
- ・活動だけでは人数が足りずに部活として活動できないスポーツが多くあるため。
- ・現状の部活動は時間も場所も限られていて、本気で取り組み区を超えてブロックや都の大会での活躍を視野に入れている人にとっては非常に物足りないと感じている。仲間と定期的には体を動かしたい人にとっては程よいのかもしれない。
- ・無理に全てを学校内で完結せず、頼れる部分は地域に移行しても良いと思う
- ・校内だけでは人数が集まらないことがあり、夢を諦めないといけない可能性があるから。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方が良い

- ・学校と地域が連携して行った方が幅広い支えや指導が受けられ、こどもと地域の繋がりが広がり地域全体での子育て支援活動に繋がると思います。
- ・個人の部活動に対しての求めている事、熱量の違いがあるため、本気でスポーツを考えている方はクラブチーム、楽しくスポーツをと考えている方は部活動など、個人の選択肢があって良いと思うからです。
- ・学校で取り組めないことを地域で補えば、参加出来る機会が増えるので。
- ・活動によっては人数が集まらなかったり、施設が学校内では不十分であったりと思うので、活動によって部活動と地域クラブと分ければ良いのではないかと。
- ・選択肢は常にあるべきだと思うから
- ・学校の生徒数が少なく、やりたいスポーツが選べなかったり、部員数が少なく活気がなくなり子どもたちのやる気のなさに繋がっていると思うから
- ・陸上、卓球など少人数でできるものは学校で。少子化もあり集団は地域クラブで他の学校と合わせた方が、練習になるのでは。
- ・様々な部活がそれぞれ満足の行く活動を行うには限界もあり、地域クラブと連携しながら活動を行えるとお互いにとってもメリットが大きいと考える。
- ・部活動であれば学校でのつながりが保たれる、地域クラブでは学校の枠を超えてつながりが作られるから。
- ・適切な指導者がいれば地域が良いけれど、いない場合は両方で指導してもらい、慣れたら地域へ移行が良いと思う。
- ・地区を区切り近隣の学校いくつかを一括りにしてひとチームとしてそして地域クラブの指導者の活用をするのが部活動として存続可能な方法かと思います。
- ・先生の負担を減らしてあげること、色んな経験者に触れる機会を作ってあげること
- ・子どもたちが部活動で上下関係を学び、切磋琢磨し成長する部分は大きい。先生方の負担増加も懸念されるため、地域クラブとの連携で解決できるのであれば、是非そうして欲しい。
- ・学校生活に密着しているからこそ盛り上がるし、取り組める部分もあると思う。ただ、教員の負担があまりに大きいことから地域クラブ人材の活用は必要と考えます。
- ・指導できる人がいるかいなか。どちらかに決めるのではなく。教員たちも部活指導研修を任意で受けて、義務ではなくオプション仕事として引き受けるようにならないか。
また、研修を受ければ教員じゃなくても指導できるようにすればよいと思う、・部活動で地域と繋がる事は地域発展にも繋がると思います。
- ・部活動だけになると偏った指導になってしまうので地域連携で子ども達を見守って欲しいです。先生の負担軽減にもなるかと思います。
- ・学校の部活で適任の指導者がいるとは限らないので
- ・家庭の事情が多様化していること。どのような家庭/経済環境にあったとしても、やりたいことのある子どもが活動できる場所が必要だと思うから。
- ・同じ学校という属性でつながる部分はあると思う。また、地域に任せると費用がどうしても高くなる(ボランティアは高齢者しかかなり手がなく、指導するとモラル、コンプライアンス的に昭和をひきずってしまうので、それを排除するためにはある程度の対価は必要)。反対に、今はそうした部分を先生方に頼っているわけで、限界を迎えている。保護者も、中学生だとほかに小さな子を抱えている場合があってたいへんすぎる。公的な仕組みとして、指導者をプールしたり、週末の練習試合や大会の引率者を地域から募るのはありだと思う。
- ・学校の先生の負担を削減するためと、色々な大人の目を見てほしいから。
- ・学校内だけでなく、他の分野も含め、指導者が複数名いることで、偏りの少ない評価と、より良い検討を積み重ねることができると考えます。
- ・負担を感じる先生にとっては余裕も気持ちも無く生徒にも良い影響が無いと思うので、学校で対応出来ない部活は地域にお任せしたら良いと思います。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方が良い

- ・ 本当は学校の部活動としての実施が良いと思っているが、近年の先生方は多忙であることから、地域に移行した方がよいところがあると思う。また、顧問の先生が教科の先生だと成績に響くのでは、先生から嫌われるのでは、と意見を言うことが難しい。
- ・ 少し地域クラブを取り入れた方が良くと思う。顧問の先生が転勤になり、新しい先生になると指導方針がガラッと変わってしまった
- ・ 学校の部活動だけでは、指導に限界があると思うから
- ・ 学校の中だけでなく地域に開かれた活動、第三者の目がある活動がなされた方が風通しが良くなると思う。指導者のヒートアップ防止にもなるのではないかと。
- ・ 部活動に所属すると、上手になるためだけではなく、学校に通うための理由になる。人間関係など、クラスより仲良くなりやすいと思うから。
- ・ 部活の種類によってもどちらが好ましいかは変わるから。
- ・ 部活動の短い時間だけでは技術の習得が困難なため、部活動と地域クラブの良い所を活用するのが中学生くらいには望ましいと思う。
- ・ 学校の部活動でも地域クラブでも良いですが、自分に合った活動を選べる環境があると良いと思います。
- ・ こどもが、地元で運動に専念できる環境ならどちらでも良いです。
- ・ 様々な家庭の事情や教育方針に寄り添えるよう、運動に取り組める場も多様性がある方がありがたい。
- ・ 地域クラブに限らず、時代や地域などに合わせて色々と試していくことが必要だと感じるから。地域がらや保護者の意識なども、学校によって違うと思います。それに合わせて、子供たちのために最適なものは何か、色々と試していくべきかと思います。
- ・ 学校の設備を使用できるのは部活動の利点だが、顧問の先生の都合で活動時間が制限されることもあるので、部活と地域クラブと両立することで、活動機会を増やしたり専門のコーチに技術指導いただく機会が充実すると良いと思います。
- ・ 学校以外の人達との交流や内容、指導者の充実が期待できる。公費助成があれば家庭も民営クラブもよいのでは。
- ・ 先生の負担軽減も求めますが、先生とのコミュニケーション場にもなっていると思うため。
- ・ 学校の先生との関わりが大切だと思うので、地域の方のサポートを受けながら、先生主体で進めるのが望ましいと思います。先生の負担が多い場合は保護者への協力呼び掛けもありだと思っています。
- ・ 適切な指導者と環境が整うなら学校内にこだわらず広い視野の環境で取り組むのもありだと思ふ
- ・ 学校教諭と外部指導者との違う指導での相乗効果が得られると思うから。
- ・ 双方のメリットがあるため。部活動のメリットは、授業以外の頑張りを先生に見ていただける。クラブのメリットは、先生の負担を減らせ、専門のコーチから技術的な指導をしていただける。
- ・ 中学ではなくて高校時代の話で申し訳ないが自分自身がマイナースポーツ競技部出身であるので、学校のみだけにスポーツの全てを任せる難しさがわかる。地域に頼れる人材がいるなら活用しても良いと思う。
- ・ 部活動は学校の課外活動であり最終的な管理者は学校の先生がよいと思います。実際の活動は地域の指導者がよい。研修を義務付け、ハラスメントなどトラブル防止に努めて欲しい。先生の中には部活動の指導がしたい人も一定数いて完全に地域に移行はできないのではないかと。指導したい先生とそうでない先生と、双方が納得できる体制を検討いただきたいです。
- ・ 在籍校を超えたいろんな人との関わりを通じ、子ども自身が気づけることも多くあると思うから
- ・ 地域クラブだけでは活動時間が限られたり指導者が足りない

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方が良い

- ・活動の実務は地域に移管しても良いと思うが、活動内容や状況を学校側も把握し、問題があれば介入も必要だと思う。
- ・何を重視するか、本人や家庭によって違うので。完全に地域移行してしまうと、気軽にスポーツを楽しめなくなり、スポーツ人口が減ってしまうと思います。また、同じ部活動仲間との関係が深いので(他学年も含めて)、人間関係を深めるのに大事な役割をしていると思います。
- ・部活動によっては、楽しむ物と結果を求める物に分かれると思う為。
- ・技術だけでなく、いろいろな大会や試合も経験させたいので、どちらとも選べない
- ・地域クラブで小さい頃から同じスポーツができるのは、学校や年齢関係なく長く続けられるのでいいと思います。中学校の先生はとても忙しいと思うので、部活動の顧問という立場から解放されるといろいろな時間が取れるのではないのでしょうか。まだまだ実現に向けて課題があると思いますが、将来的にそうなればいいと思います。
- ・地域完全移行となった場合、第三者的な立場の人間がいないと、指導者が暴走し、食い止める方がいるのかと思う。現にそのようなことが起きていると思う。現状は、指導者と同等にものを言える学校長の役割は大きいと感じる。それは指導をお願いしている保護者からすると、指導者にはものが言いにくい。また生徒自身も顧問の先生(学校側)には言いやすいのではないかと思う。
- ・現在やりたいスポーツが部活動になく地域クラブに所属しているが、指導者が就労しているため夜の練習がほとんどであり、また通うにも時間がかかることから、学校の課題や他の活動、塾や通院等にかける余裕がない。地域クラブへの移行をするならば、活動場所とチーム数を増やし活動日程を選べるようにすべき。通うことに時間がかかると学業と地域クラブでの活動の両立は難しい。区内区外問わず、距離的に自宅から自転車で通える範囲の施設(中学校含む)で早い時間帯に活動を開始できる環境(外部指導員の確保、有償化に関わる財源確保)が整えば、自校での部活にこだわらず活動できると思うので顧問の先生方の負担はなくなると思う。
- ・中学校の部活動として活動を続ける場合も、外部指導員が足りない等で顧問をされている先生方にも別途報酬は出すべきだと考える。やりがいを見いだしてくださる先生も、責任感の強さや上からの圧力等で引き受けざるを得ない先生も(良くないが)、負担は大きいはずで無償で引き受ける時代ではない。先生方はボランティアではない。まずは学校教育の充実のために限られた労力を使っていてほしい。また、中体連主催の大会に出場しない部活動・地域クラブなら、スポーツは好きだが競技が苦手な子供でもやりやすく、活動の幅は広がるのではないか。
- ・現在適切な指導者がおらず、練習しても上達しない。(初心者の子供たち同士で練習している)また、それに伴い子供たちのやる気も低下し、活動に参加する児童が減っている。やるからにはきちんとレベルアップをして、試合に勝つなどモチベーションをあげさせてあげたい。
- ・外部コーチや顧問によって子供達の上達が違うと思う。子供が自ら選んで自分に合う顧問やコーチに教われる環境になれば良いと思います。
- ・人間性関係にまだ拙い中学生が上下関係、仲間、他校との関係に学校の先生が全くいない状態で正しく対応できるのか不安。しかし先生の負担を増やしたくはない。
- ・部活でも地域クラブでもどちらもメリットがあり、全ての人にとってメリットの多いやり方(優先されるべきは当然子供達ですが)で運営出来ればいいと思います。運動が得意な子は、更なるレベルアップや、試合に勝つ事の達成感を味わいたいなど、だと思えます。が、そこまで得意ではない子、忙しい子は、楽しく、週に1、2回健康維持?の為にやりたいなどと思う子もいると思います。運動が好きだけど、下手なので、部活はハードルが高いと言う子も聞いたことがあります。そういった、両方の思いを叶えられると思いますし、それを先生方だけに頼ってしまうのも申し訳なく思います。もっと教師の数が昔みたく増えたらいいですが。外部のコーチだけ、や、顧問の先生だけ、に頼るのではなく、両方の大人、沢山の大人がかかわる事も子供達の健全な心の成長に繋がるかなとも思います。
- ・中学校によって部活の種類に限られる。近くの中学校で合同チームを作れば、種類も人数も増やせていいのではないか。先生方の負担を減らせると良いと思います。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方が良い

- ・学校以外のコミュニティも必要だと思う
- ・地域クラブもあると学校内だけじゃなく、たくさんの経験や出会いがあるから
- ・独自のクラブがあるのも個性として必要。しかし、地域でまとまる事で指導者が増える・部活動の種類が増える・仲間が増えるという形になれば、子どもたちの選択肢が多くなり良いと思います。
- ・部活動に無いものを地域クラブで補えるであろうし、風通しが良くなり、この部活なら内申点が上がるなどの打算的な参加理由が減るのでは無いと思う。
- ・専門でない先生が顧問になると、先生にも生徒にもメリットが少なく、良い結果にならないと思われる。部活動によって、費用が変わると公平性が保たれないかもしれないが、地域移行する部活動はその部活内で部費を募ってコーチを頼むなどすれば良いと思う。生徒のやりたい、上手になりたいという気持ち、中学校でしかできない一体感だったり大会で勝ち抜く達成感を、大事にしてあげたい。それは、先生の犠牲の上にあるべきものではない。
- ・部活動でも地域活動でもいいのですが、大会があるのなら指導者がきちんと指導して頂きたい。顧問以外に指導者がきちんといて、たくさん練習できている学校との実力の差を目の当たりにしたので、子ども達がかわいそうでした。
- ・どうしてもその運動がやりたくて部活に入って、もし人間関係が上手くいかなかった時に、地域に移れたら良いと思う。その場合、内申にも付けられるようになっていけばなお良い。
- ・部活動の顧問をしたい先生もいるので、その方も地域クラブと同じ扱いが望ましい。ただ地域に受け皿を求めるとしたら、それが成り立つだけの資金（予算）が必要と感じます。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



②部活動と地域クラブで実施した方がよい

今回の「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」に際して、関係者のみなさまで推進されていることに大変貴重な意義を感じます。この場を借りて感謝をさせていただきます。回答を超えた部分まで含み恐縮ですが、思うところを記載いたします。

私は、2(部活動と地域クラブで実施した方がよい)の回答で実施が出来ると感じています。

●取り組み意義の優位性

スポーツをするということにおいては、部活動と地域クラブは受け皿や組織形態の話で合って、スポーツを行うということ自体にはなんら影響がないと感じます。現在、学校教員のみでの部活動から、民間移行・地域移行を含めた地域クラブ導入へ試行されており、非常に現在的な課題と取組と感じます。

●課題・問題点

教員の働き方改革の実践、地域クラブ導入のために①指導人材の確保②運営組織の整備③民間導入にあたる予算の確保、等学校側と民間側の各々の課題と解決があると感じます。特に③の予算確保はハードルが高く、継続的な予算確保は難しい反面、これまで教員のほとんどボランティア？で実践していたことを急に民間のボランティア、にすり替えることはもっと難しいと感じます。義務教育期間のスポーツの機会はある程度等しく与えられる方が望ましいと考えますので、部活動を受ける中学生から参加費等受益者負担の道に進むのはあまり好ましく感じていません。上記の地域クラブ両立の意義は非常に同感し賛成なんですけど、諸点の課題は、地域クラブへと移行していく大きな課題と解決点の難しさかなと感じています。

●解決の方向性

・地域クラブ導入の理解促進

私は、少し前から部活動の地域移行のお話を伺う機会を頂戴し、富士見丘中の取組をアルティメット部活動を通してご協力させていただいております。そうした中で、上記の部活動経緯・取り組み思想・少し先のゴール、までお話を拝聴させていただいておりますので、概ね今回の取組や背景を理解しているつもりです。

しかし、初めて中学生のお子さんをもつご家庭、そして3年で卒業していく期間の短さ、またそれを実践する中学生の生徒さん自身、なんとなくいままでイメージしている部活動のイメージとの違いなどあるかと思いますが、今回用意された説明動画や資料を通して、部活動の今、を理解いただければ、かなり部活動地域移行を進めやすくなるのかなと感じました。

・中学生部員以外からの費用徴収・参加機会創出

地域クラブが民間で運営をしていくにはボランティアに近いものが求められていきそうですが、中学生以外の参加者からの参加費徴収や、なんらかの自浄努力で運営を成立させていく方向はあると思います。

また、学校教育の一環を鑑みると、制度移行が進む過渡期の10年程度は予算確保を行い、国として進める制度整備が必要と感じます。

一方で、受け皿の民間団体は、優先的な学校施設の利用や、一緒にスポーツを楽しむメンバーの確保や、親子・地域で中学生と共有する時間の創出等、メリットも大きいと感じます。

いずれにしても、双方のメリット・デメリットを考えたうえで、制度改革が着実に浸透する事を期待します。そのための、ご協力・お手伝いはしていきたいなと感じます。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



③地域クラブで実施した方が良い

- ・前は部活動にかけることができる時間が多く、授業以外で見せる生徒の新たな一面を発見することができることが学校の部活動として行うメリットだと考えます。近年は個別対応や教員の仕事量が増え、十分部活動に時間をかけることが難しくなっているのが現状です。
 - ・教員の仕事が多すぎるので、教員の数が増えない限り難しいと思います。
 - ・部活動の教育的意義はあると認識しているが、現在の教育課程や勤務環境で学校で継続するのは難しい。部活動を学校で行うならば代わりに他の活動を削ったり、学校で働く人を増やすことが必要だと考える。
 - ・生徒数の減少により人員確保が難しいから。
 - ・教職員の業務過多の中で、部活動指導は重荷です。本来、教職員は教科指導や生徒指導に特化するべき存在であり、部活動に時間をかけている暇はありません。
 - ・そのスポーツの経験が十分にある人が必ずしも顧問になるとは限りません。むしろ、学生時代に経験のないスポーツを任せられたり、運動部を経験していない教員が運動部顧問を持つこともあります(自身もそうです)。生徒目線で考えた時に、やはり指導してもらえる大人は専門家の方がよいと考えます。教員の負担も大きすぎます。
 - ・教員の負担が多すぎると感じます。しかし、部活をここから楽しみたい教員もおりますので、そこは難しいところです。
 - ・あてがわれた指導者に意欲を感じない
 - ・学校教育の枠組みで実施するには無理があると考えため
 - ・地域クラブとして実施できるのであれば実施していくのがよいと思うが、実際部活動を運営する教員の役割は大きく、それを地域クラブが担っていけるのかはとても疑問をもちます。地域に所属するスポーツクラブの生徒は今までもおりましたが、学校の中で行われているような教育的指導（人間関係のトラブルなど）をしっかりと行っていないようなクラブも存在していたように思います。そういったことを含めて指導していけるのであればぜひとも地域クラブで実施していただきたいと思います。
 - ・現状でもやるのがたくさんあるから。
 - ・技術を向上させるために、それなりの専門の人を雇って、お金をきちんと支払うべき。自分の身になることのほとんどはお金がかかることが当たり前だと思う。月に5000円など、指導に対して、高い費用を支払うのは妥当だと思う。学校の教員の数より、地域住民の方が数が多いからより質の高い指導ができる経験者を探しやすいと思う。
- ・地域の方々とやったほうがいろいろな方とかかわれるから
 - ・経験のない顧問がつくよりも、経験のある指導者がいた方が、技術向上が見込めるから
 - ・専門的な指導や顧問の移動などで継続した指導ができないや働き方改革の一つと理解している。少子化ということも踏まえると地域に移行していくのもよい
 - ・先生には魅力的で学習する事に興味がわくような授業の準備に力を注いで欲しい。先生達にもしっかり休養をとっていただきたい。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



③地域クラブで実施した方が良い

- ・学校とは別に世界がある事で心理面で安定に繋がると考えるから
- ・部活を学校から完全に切り離さないと、スポーツが教育の手段になってしまうから。スポーツは余暇でしかない。
- ・教職員の方々が日々の教育に専念できるように。片手間に部活の顧問はできないと思う。専門の方に教えてもらえた方が、上達できると思う。
- ・本来、部活動に入らなくても集団生活のルールや目標を持って生活することはできるし、そのように教育しなければならないので、部活動が暗黙の了解のように入らないと気まずい今の雰囲気も変えていければ良いと思います。
- ・部活動は専門の指導者に任せ、先生の負担を軽減した上で本来の学業の方に集中出来る環境を整えた方が良いと考えたため。
- ・先生方は、日々の授業（授業準備）と行事、新しいシステムの導入（受験の申込みについて理解されていない先生が、いらっしゃいました。）で大変なご苦勞をされていると思います。思春期の子どもたちは敏感なアンテナをもち、先生の疲れや、気分にも影響を受けやすいと感じています。先生も土日にご家族と、またはお一人でもゆっくりした時間を過ごしていただきたいです。
- ・先生の負担を減らしたい。各スポーツごと経験ある地域の指導者が教えた方が、上達する。
- ・地域クラブでも実践できる、という意味でこちらを選択しました。適切な指導者の元であれば学びが得られると思います。子どもにとっては学校外の交友関係が拡がり、学校内とは違う新しい世界ができるのではないかと期待があります。
- ・先生が指導の立場だと、やはり絶対的な上下関係が出来てしまいます。内申が気になる生徒は先生に気を遣い、意見を言えず先生の意向に従わざるを得ない環境になってしまうと思うからです。
- ・教師の負担軽減と、学校を越えた人間関係の構築。
- ・高校受験内申では部活経験が問われるから
- ・学校内だけだと人間関係が狭くなりトラブルが起こりやすいと感じる。また、適切な指導を受けることができない。学校により実施できる部活や環境にばらつきがあるため。
- ・専門の方指導で怪我防止 教師の負担も減る スポーツ指導者の就職先が増える 日本のスポーツ能力も向上
- ・職員の働き方の負担軽減のために。部活を通じての生活指導や教員と生徒の感動体験の共有を他の形で補う事と適切な指導者の確保が課題となるのではないのでしょうか。
- ・学校以外の居場所が出来る。先生の負担軽減のため。
- ・教職員のリソースを部活動以外に集中して頂きたい為。
- ・学校の活動として行うのは、教職員の負担増でもあり、技量に差もあるので、指導を受ける側にとっても有意義といえないのではないかと考えているため。
- ・部活担当の教員は活動に対して専門的な知識をもっているとは限らない。学校生活と部活動は切り離して活動してほしい。
- ・適切な指導者がいることが子供にとっても勉強になり経験にも繋がってくるのではないか。
- ・学校という安全な場でもあり閉鎖的な場でありながら、異なる居場所ができる気がするため。また、勝ちにこだわらずスポーツを楽しむ事ができそう。
- ・学校の先生の負担を減らす事で、先生になってくれる人材を確保する事ができるのではと思うからです。
- ・専門家の指導により、一層の技術向上が期待出来るから。教員による指導では特に身体能力の発達が著しい時期だけに伸びる可能性が限られてしまう気がする。また、教員、親以外の大人との関わりにより得るものも大きいと思う。
- ・生徒数が少ない学校では部活動の種類が少なくなり、本来やりたい部活がないが、内申のために別の部活に所属している場合がある。地域クラブで本当にやりたいスポーツに打ち込めることが望ましい。また、部活の先生の指示と地域クラブの先生の指示が異なった場合に子供達が迷う、不満を抱くことがあるため、1つのグループに属したほうが過ごしやすいと思う。

5-3. 自由記述 中学校の運動部活動に求めていることは どういう形で実現するのが望ましいか



④部活動以外の学校教育で実施した方がよい

- ・部活動は、顧問に任されているところがあり、身に付けさせるものがまちまちであるので、教育課程として実施した方が効果的だと考えます。
- ・スポーツの技術向上・身体を動かして楽しむ環境は体育の授業で提供できるから。自分の目標を設定して、それに向けて自身で工夫・努力する環境は、各教科の授業や特別活動で提供できるから。
- ・部活動が蔑ろにされている。
- ・そもそも放課後の部活動という形での実施が時代錯誤も甚だしいと考える。大半の学校が部活動への参加を強制していない以上質問1で答えた望むべきことに関しては、勤務時間内の学校活動の中に織り込むべきだと考える。

5-4. 自由記述 運動部活動に取り組む教職員自身が求めていること

- ・生徒が努力する姿から、パワーをもらえる
- ・平日勤務時間内の適切な活動
- ・適切な労働環境、責任に対する正当な対価、生徒の成長、教員の家庭に対する配慮